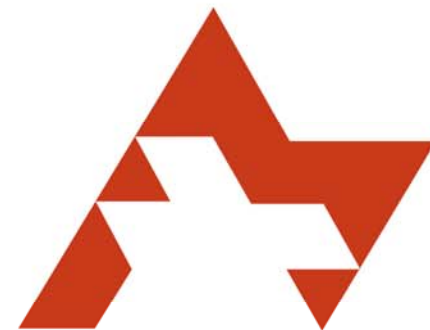


2010年8月期 決算説明会



株式会社 メディサイエンスプランニング

[証券コード 2182]

説明会の模様を動画にて配信しております。併せてご覧ください。

<http://www.irwebcasting.com/101015/03/index.html>

Contents

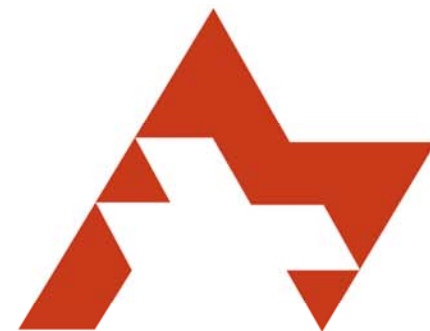
I 2010年8月期決算の概況

II 2011年8月期計画

III 経営戦略

IV 参考資料

I 2010年8月期決算の概況



株式会社 メディサイエンスプランニング

2010年8月期決算の概況(連結)

- 売上高は、8.7%増収を達成したが、大型案件の中止等により計画を下回る
- 営業利益は、売上計画未達の影響により、66.0%減益
- のれんの償却及び移転に伴う特別損失の発生により当期純損失35百万円を計上

(単位:百万円)

	2009/08 (単体)		2010/08 (連結)			2010/08 (当初計画)	
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	計画比
売上高	6,003	100.0%	6,527	100.0%	108.7%	7,495	87.1%
売上原価	4,353	72.5%	5,062	77.6%	116.3%	5,533	91.5%
売上総利益	1,650	27.5%	1,464	22.4%	88.7%	1,962	74.6%
販管費	1,204	20.1%	1,313	20.1%	109.0%	1,398	93.9%
営業利益	445	7.4%	151	2.3%	34.0%	563	26.9%
特別損失	49	0.8%	171	2.6%	344.5%	96	177.4%
四半期純利益	216	3.6%	△35	—	—	253	—

業務別売上高(連結)

(単位:百万円)

	2009/08 (単体)	2010/08 (連結)	前年同期比	2010/08 (当初計画)	計画比
モニタリング業務	5,171	5,380	104.1%	6,431	83.7%
データマネジメント業務	252	328	130.2%	281	116.8%
ファーマコヴィジランス業務	424	481	113.6%	450	106.9%
その他業務	155	335	215.7%	331	101.3%

- モニタリング業務 増収なるも、大型案件の中止等により計画未達
- データマネジメント業務 既存及び新規取引先からの受託増により、増収
- ファーマコヴィジランス業務 特定派遣業務等の受託増により、増収
- その他業務 CSO事業の譲受け等により、増収

計画未達の要因

① プロジェクトの中止

海外での治験結果、開発戦略の変更により、大型プロジェクトが中止。

② プロジェクトの早期終了・開始遅延

プロジェクトの早期終了や開始遅延により当期計上額が減少。

③ 受注のタイムラグの発生

上記①、②(早期終了)の代替えプロジェクトの受注に時間を要した。

上記理由による売上計画の未達及びこれに伴うモニター稼働率の低下

受注実績

(単位:百万円)

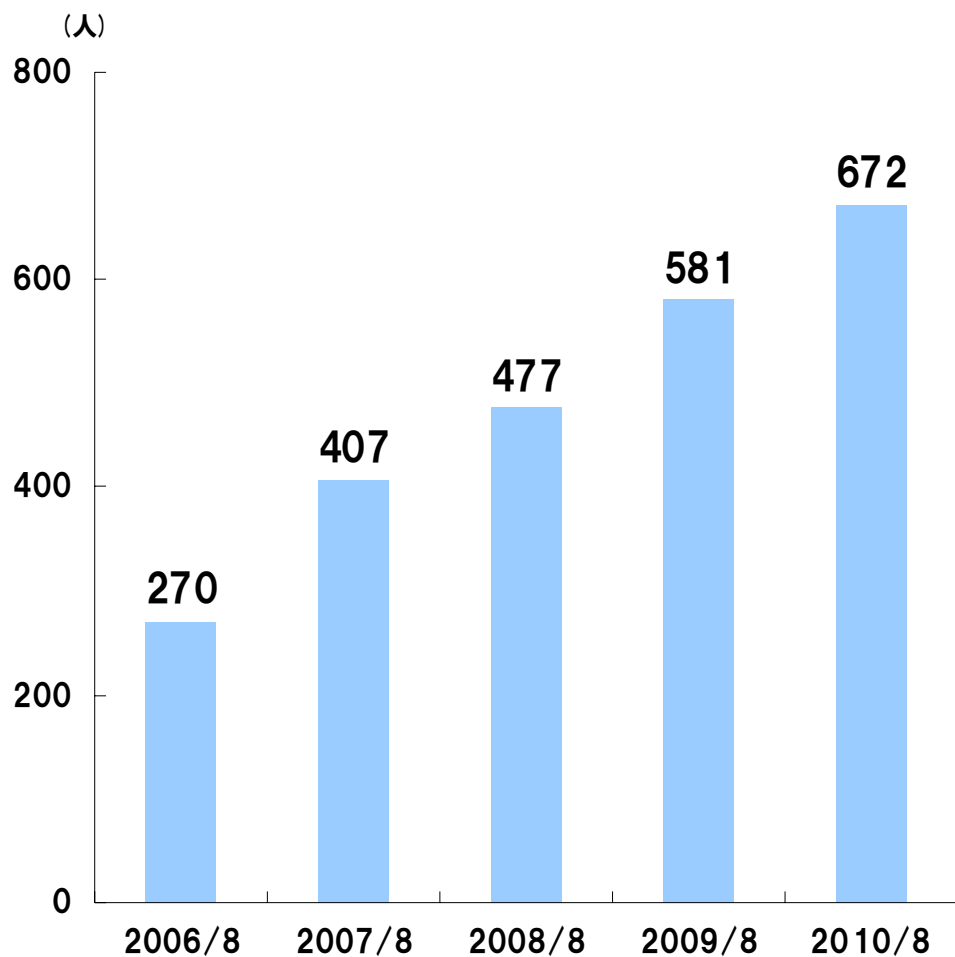
	2009/8 (単体)		2010/8 (連結)			
	受注高	受注残	受注高	前年比	受注残	前年比
全社	7,193	4,629	7,265	101.0%	5,840	126.2%
モニタリング業務	6,237	4,159	5,591	89.6%	4,835	116.2%
データマネジメント業務	258	209	352	136.4%	232	111.2%
ファーマコヴィジランス業務	430	86	486	112.8%	90	105.0%
その他業務	267	174	835	312.6%	682	391.3%

※取引先上位5社

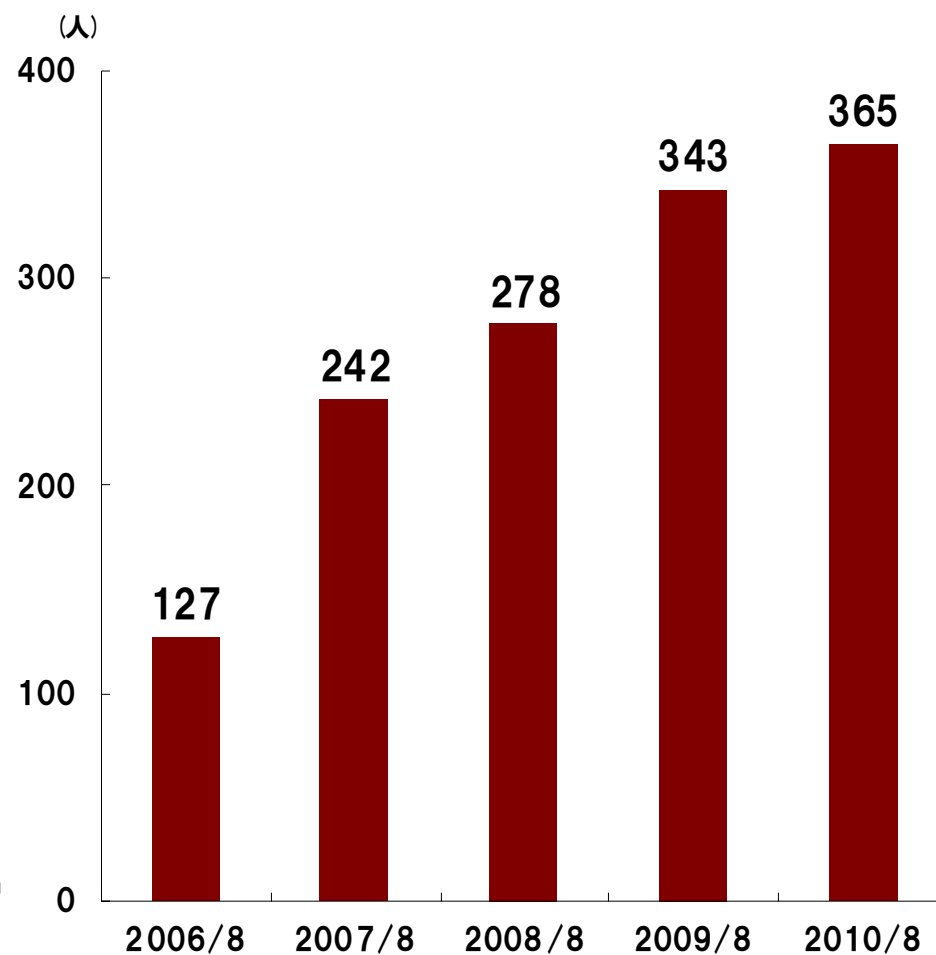
2009/8	2010/8
第一三共株式会社	ファイザー株式会社
ファイザー株式会社	エーザイ株式会社
ワイス株式会社	ワイス株式会社
エーザイ株式会社	第一三共株式会社
バイエル薬品株式会社	味の素製薬株式会社

従業員数・モニター数の推移

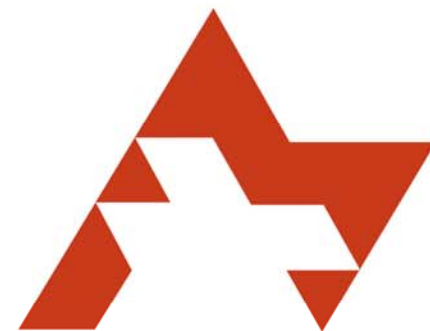
従業員数



モニター数



Ⅱ 2011年8月期計画



株式会社 メディサイエンスプランニング

2011年8月期通期計画(連結)

(単位:百万円)

	2010年8月期		2011年8月期(計画)			
	実績	構成比	計画	構成比	増減額	前期比
売上高	6,527	100.0%	7,500	100.0%	972	114.9%
売上総利益	1,464	22.4%	1,974	26.3%	509	134.8%
営業利益	151	2.3%	535	7.1%	384	353.9%
経常利益	143	2.2%	525	7.0%	381	366.7%
当期純利益	△35	—	293	3.9%	328	—
従業員数(名)	672	—	749	—	77	112.9%

2011年8月期通期 業務別売上計画

(単位:百万円)

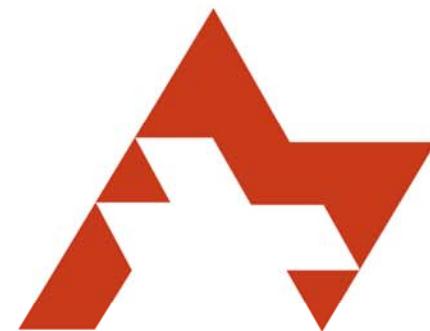
	2010年8月期		2011年8月期(計画)			
		構成比	構成比	増減額	前期比	
全社	6,527	100.0%	7,500	100.0%	972	114.9%
モニタリング業務	5,380	82.4%	5,815	77.5%	434	108.1%
データマネジメント業務	328	5.0%	330	4.4%	1	100.3%
ファーマコヴィジランス業務	481	7.4%	510	6.8%	28	105.8%
CSO業務	277	4.3%	700	9.3%	422	252.0%
その他業務*	57	0.9%	144	1.9%	86	250.7%

*その他業務・・・メディカルライティング業務、薬事コンサルティング業務、市販後調査業務等

2011年8月期計画の背景

- ✓ **市場は回復傾向**
- ✓ **モニタリング業務における営業体制の強化**
- ✓ **CSO業務の拡大に注力**
- ✓ **稼働率の回復と経費削減により利益を確保**

III 経営戦略



株式会社 メディサイエンスプランニング

当社を取り巻く環境

- 1. 製薬業界の動向**
- 2. CRO市場の動向**
- 3. 日本の治験環境の現状と課題**

1. 製薬業界の動向

✓ 国際化

欧米・新興国における自社販売網の構築
グローバルスタディの増加

✓ M & Aの進展

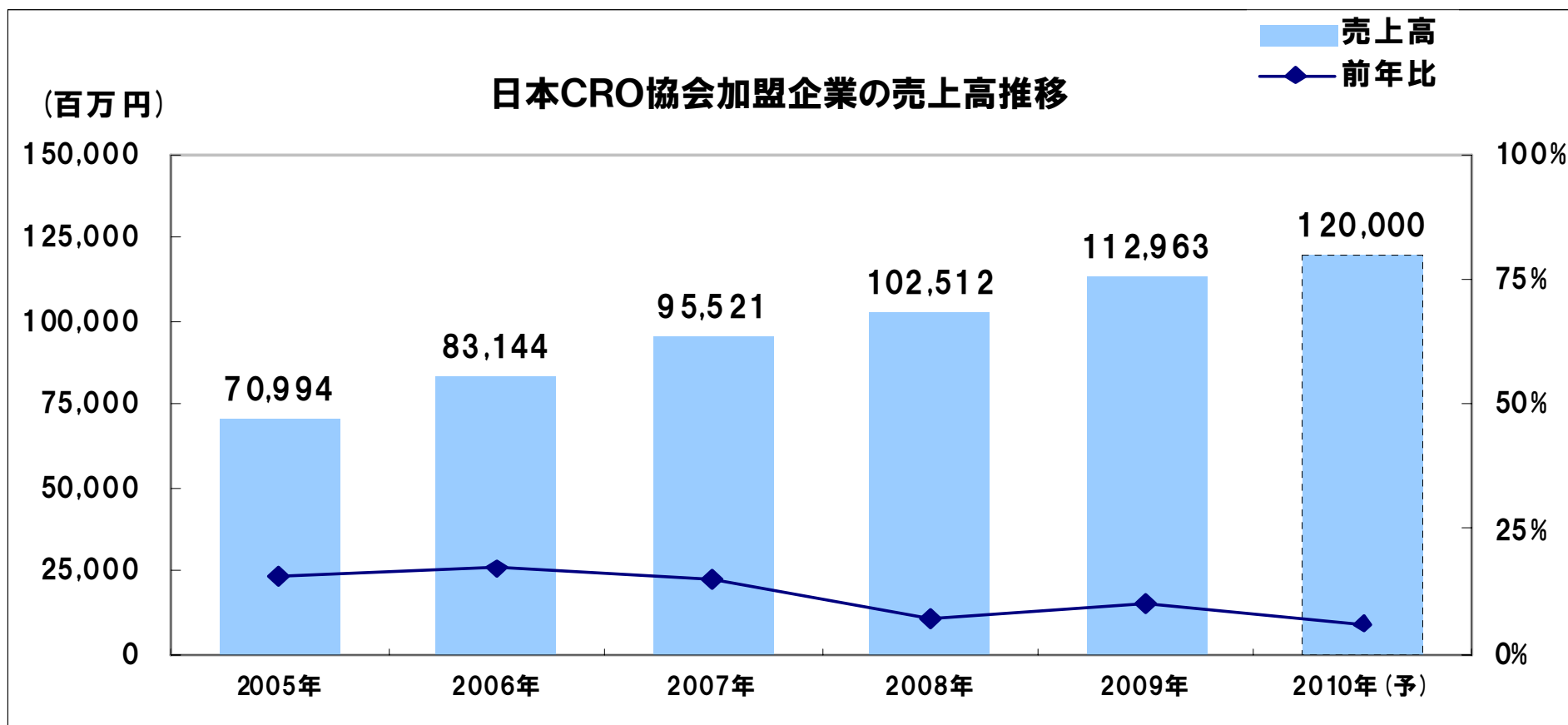
大型合併
大手企業によるバイオベンチャー等の系列化

✓ ジェネリック医薬品の台頭

医療費の抑制
外資系企業、先発品メーカーのジェネリックへの進出
バイオ後続品の開発環境の整備

2. CRO市場の動向

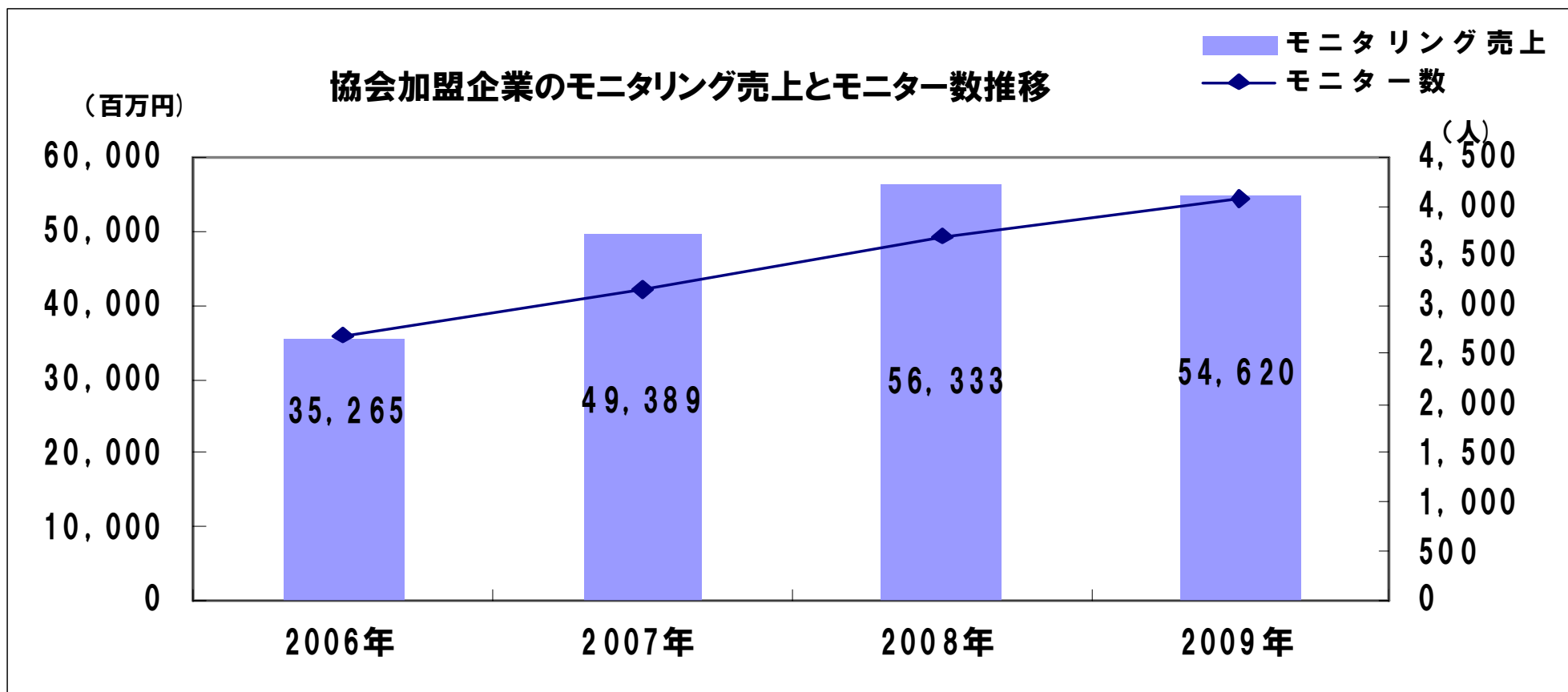
✓ CRO市場は急成長期から安定成長期へ



(日本CRO協会資料より当社作成)

2. CRO市場の動向

✓ CRO企業の規模拡大により競争が激化



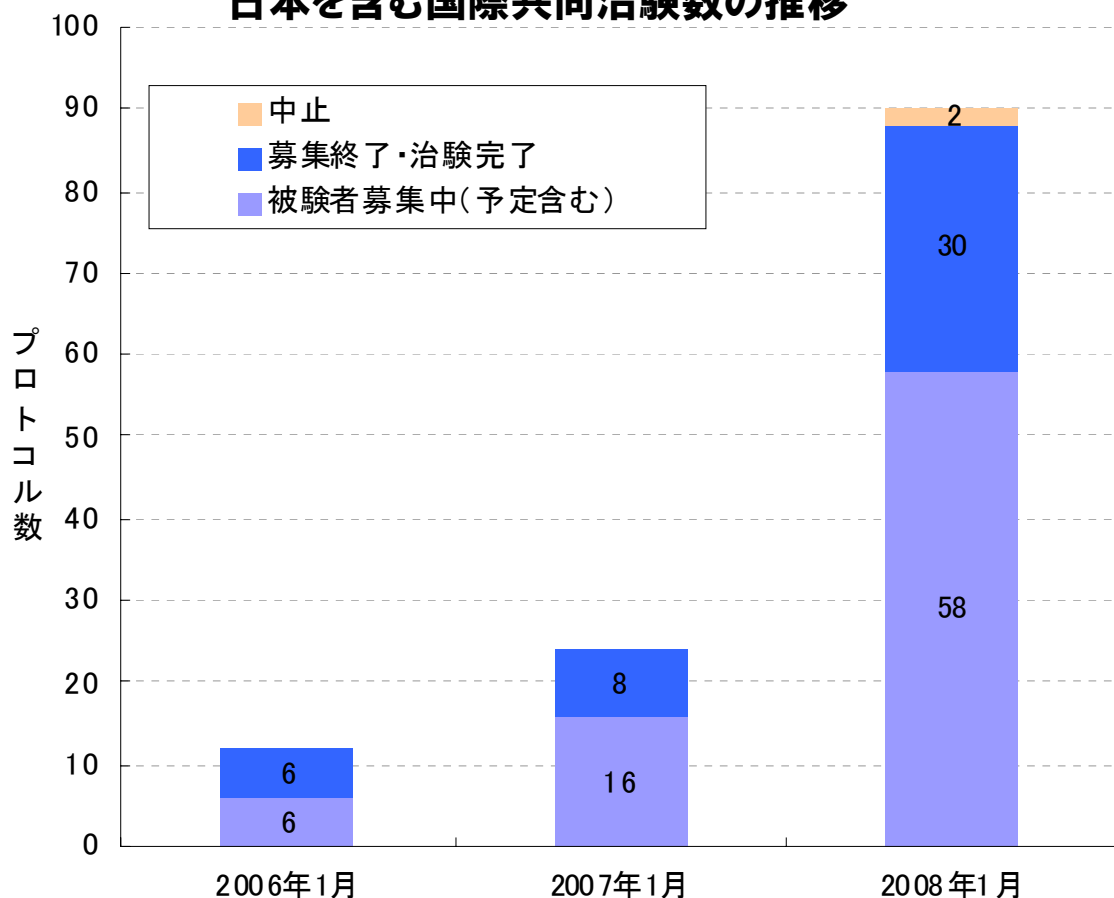
(日本CRO協会資料より当社作成)

3. 日本の治験環境の現状と課題

✓ 増加するグローバルスタディ

製薬会社主導の日本を含む国際共同治験数は急増している。

日本を含む国際共同治験数の推移



グローバルスタディとは

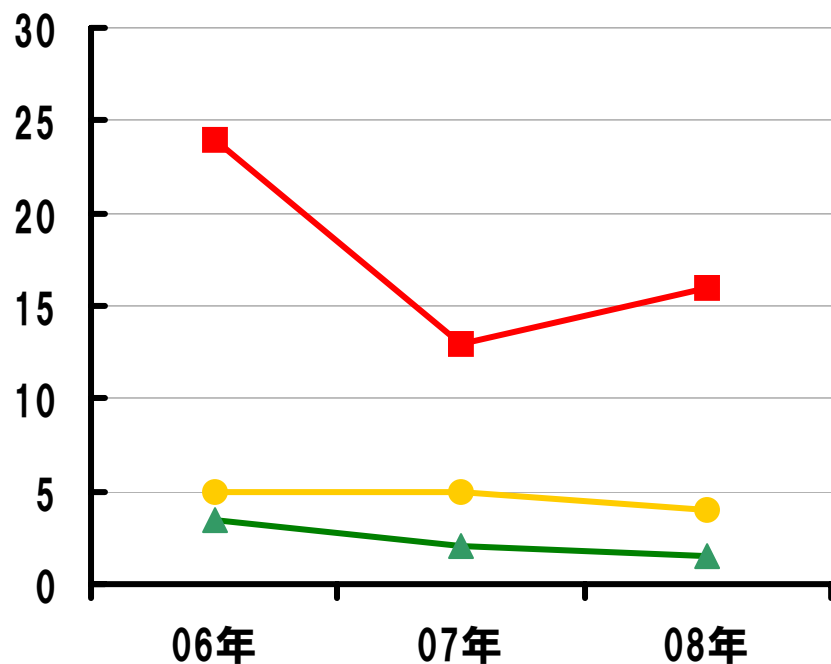
新薬の世界規模での開発・承認を目指して企画される治験であって、一つの治験に複数の国または地域の医療機関が参加し、共通の治験実施計画書に基づき、同時並行的に進行する臨床試験。

(出典: 政策研ニュースNo. 26)

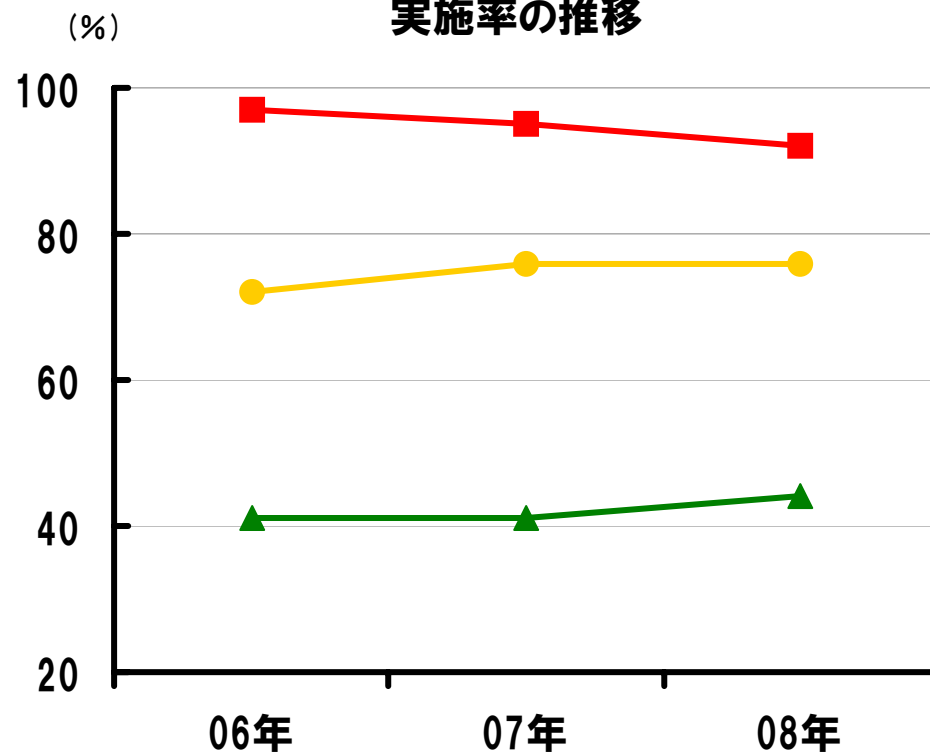
3. 日本の治験環境の現状と課題

✓ 症例集積性が低く、コスト増に繋がっている

1 治験あたりの症例数



実施率の推移



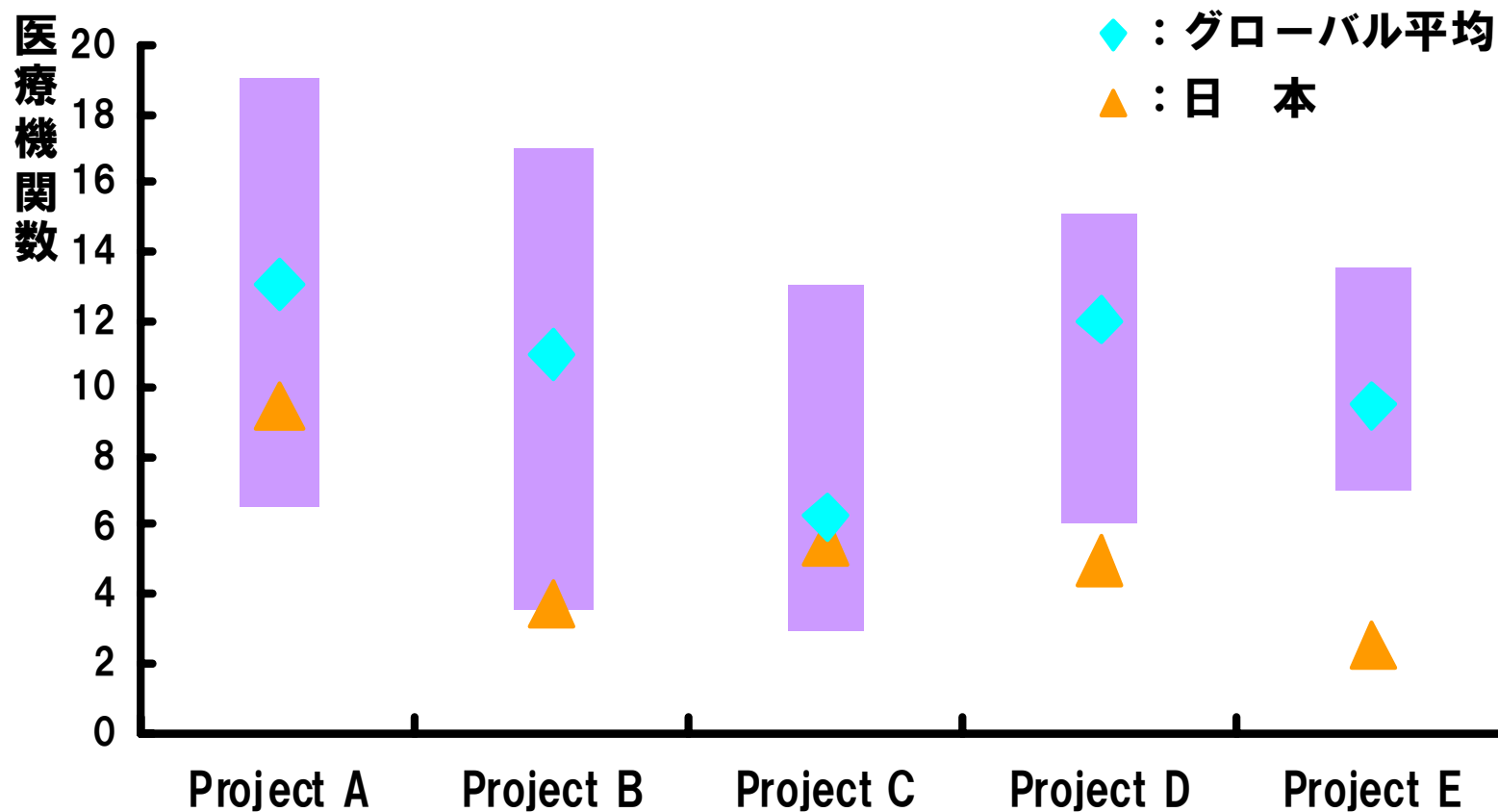
■ 最大 ● 中央値 ▲ 最小

(出典: 厚労省資料)

3. 日本の治験環境の現状と課題

✓ モニターの生産性向上が求められている

グローバルスタディ(制がん剤)におけるモニター1人あたりの担当施設数比較



中期経営計画「アクションプラン30」

中期経営計画(10年8月期～12年8月期)の基本コンセプト

1. 強い組織の育成
2. 明確な差別化
3. 次世代に向けての準備

1. 強い組織の育成①

組織力強化

利益率の改善

人材中心主義、For The Teamの精神が徹底した組織風土の醸成

【2010年8月期の進捗】

- **執行役員制度導入及び経営体制・組織体制の変更**
権限委譲による中間マネジメント層の育成・強化
- **本社事務所の統合・移転**
業務効率化と年間60百万円のコストダウン
- **就業時間の変更**
コスト競争力の向上

1. 強い組織の育成②

高品質サービスの維持

教育の充実、キャリアアップ支援による社員のレベル向上

適正な組織づくり、人員配置の推進

【2010年8月期の進捗】

➤教育環境・制度の充実

グローバル対応CRAの育成(海外研修・英語教育・認定資格)

➤モニターをサポートするPJマネジメントシステムの構築

Issue&Risk Log 成功事例、失敗事例等を共有する仕組み

Dashboard Report 進捗、質、業務量、採算性等の見える化

➤営業部門と現場の一体化

情報の共有化、連携強化による顧客満足度の向上

2. 明確な差別化①

特定領域の強化

中枢神経系領域における差別化の徹底

癌及び生活習慣病領域の充実

【2010年8月期の進捗】

➤シーポックの子会社化による生活習慣病領域の強化

生活習慣病領域に強みを持つシーポックを2010年9月1日付け
で子会社化

➤癌、ワクチン領域における受託実績の向上

	2009年8月期	2010年8月期
癌	4案件	8案件
ワクチン	0案件	3案件

2. 明確な差別化②

医療機関との関係強化

臨床試験を実施する医療機関との関係強化

製薬会社と医療機関との橋渡し可能なブリッジングカンパニー

【2010年8月期の進捗】

- 新たな形態のSMOとの連携
- 医学・薬学系学術団体及びそこに所属するKey Opinion Leaderとの関係強化
- GHCとの連携による新たなサービスの提供
(症例集積性の向上とリクルートマネジメント)

3. 次世代に向けての準備

CSO事業

CSO事業の基盤整備と規模拡大

【2010年8月期の進捗】

➤ 受託実績の向上

	2009年8月期	2010年8月期	2011年8月期(予)
顧客数	2社	12社	16社
売上高	130百万円	277百万円	700百万円

新たな発展領域の構築

医療介護のトータルサービスプロバイダー

2012年8月期目標数値(連結)

- 売上高 90-110億円
- 営業利益率 12-15%

配当について

配当に対する基本方針

適正な内部留保の充実による財務体質の一層の強化と将来の事業展開を考慮しつつ、業績に応じた成果配分を行う。

1株当たり配当金の見通し

年間配当金	30円（予定）
中間配当金	15円
期末配当金	15円（予定）



【経営管理本部 経営企画部】

<http://www.mpi-cro.co.jp/>

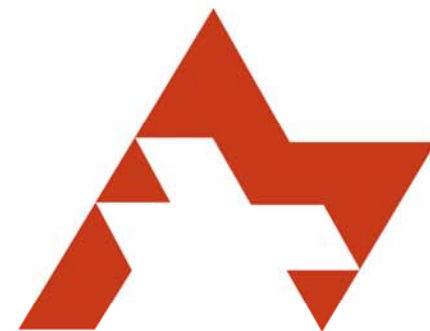
TEL 03-5820-7614 FAX 03-5820-7606

E-mail ir@mpi-cro.jp

[本資料お取り扱い上のご注意]

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測等は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

IV 参考資料



株式会社 メディサイエンスプランニング

会社名	株式会社メディサイエンスプランニング（MEDISCIENCE PLANNING INC.）
設立年月日	1982年9月20日
代表者	取締役会長 CEO 浦江 明憲 代表取締役社長 COO 酒井 杏郎
事業内容	CRO事業 ① モニタリング業務 ② データマネジメント業務 ③ ファーマコヴィジランス業務 ④ その他業務（メディカルライティング業務、コンサルティング業務、CSO業務等）
関係会社	株式会社シーポック

経営理念・経営方針

経営理念

「健全性への貢献」

医薬品の開発を通じて

製薬会社、医療機関、患者さんの健全性に貢献

すること、会社の継続的な発展を通じて

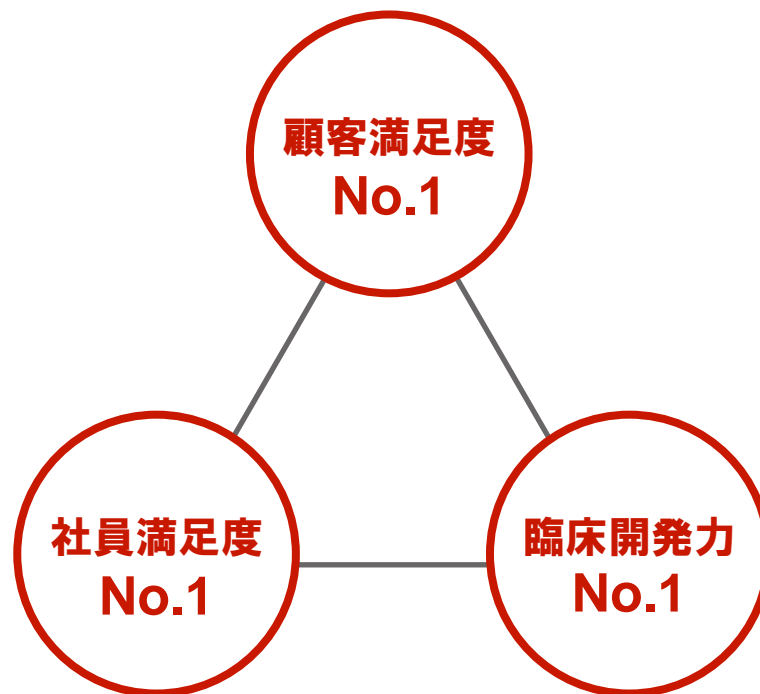
当社役職員の心身の健全性、組織としての

健全性に貢献すること、社会の公器として

地域、社会の健全性に貢献することを目標とする。

経営方針

「No.1 CRO」を目指し、
以下の「3つのNo.1」を実現する。



当社グループのCRO事業

臨床試験の実施にあたって、製薬会社等との委受託契約により
臨床試験の管理・運営に関する様々な専門的サービスを提供

顧客（製薬会社等）

モニタリング業務

モニタリング及びモニターの派遣

データマネジメント業務

臨床試験データの記録・管理及び統計解析

ファーマコヴィジランス業務

医薬品の安全性情報の収集・
評価及び報告書作成

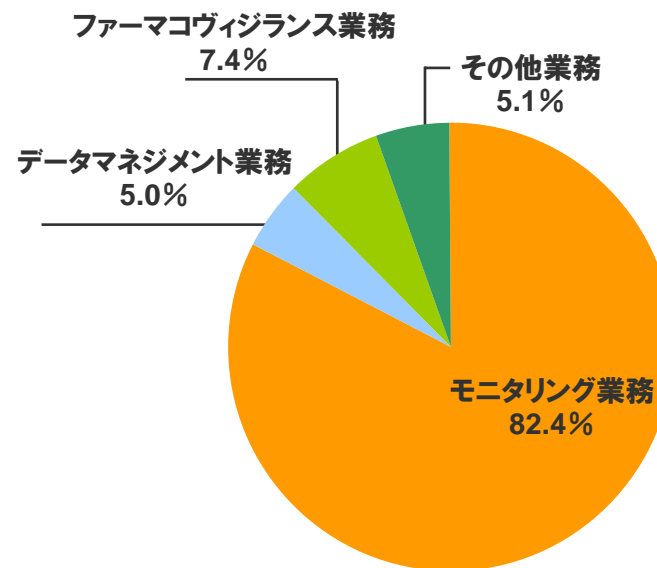
その他業務

メディカルライティング業務、
コンサルティング業務、CSO業務、
市販後調査業務等

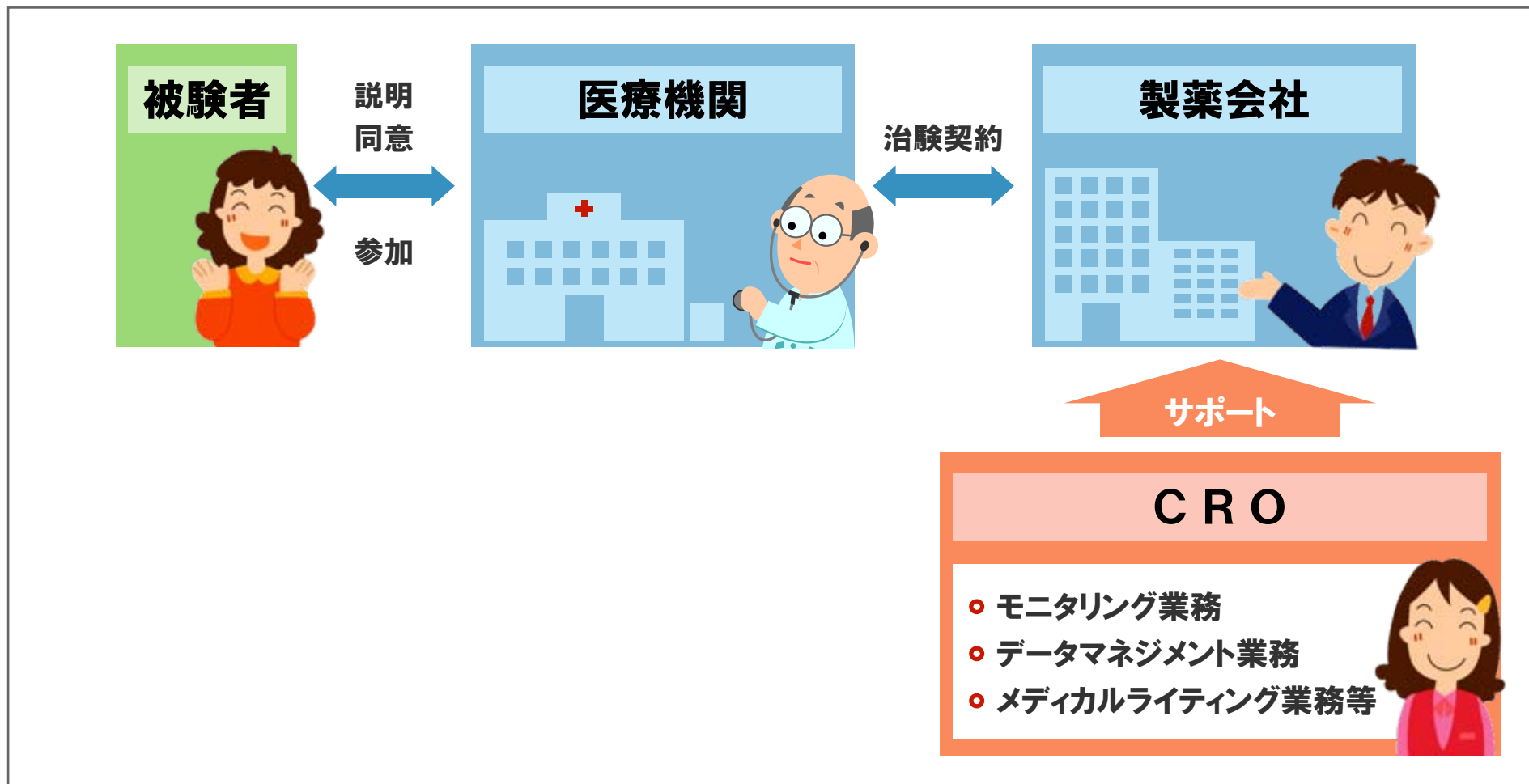
当社グループ

業務別売上高構成比

【2010年8月期(連結):売上高65億2,716万円】

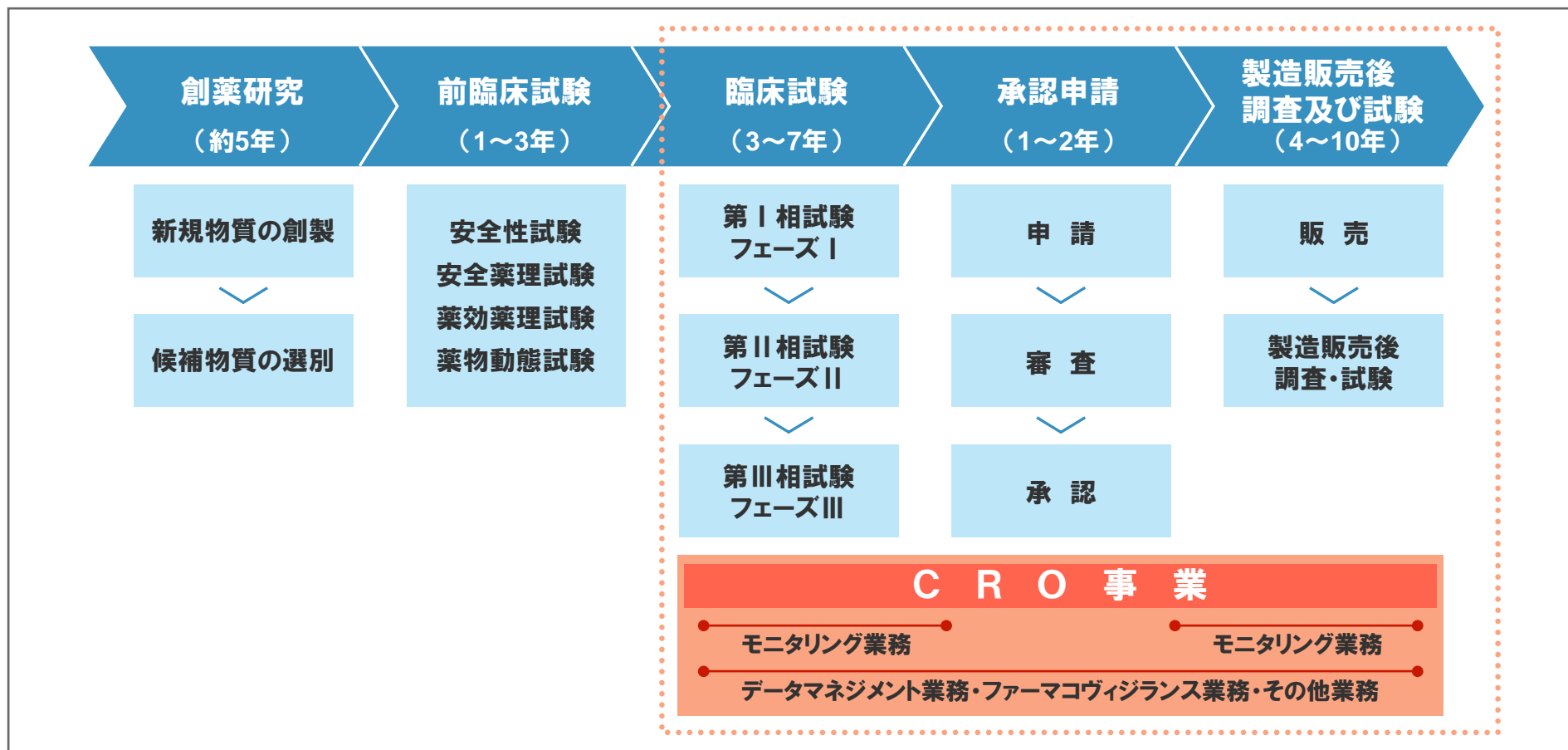


臨床試験（治験）実施体制



※ CRO: Contract Research Organizationの略（医薬品開発業務受託機関の意味）

CRO事業は、1970年代に欧米で誕生した医薬品開発のアウトソーシングビジネス



事業内容 [1]

モニタリング業務

- 臨床試験が薬事法に規定する基準や実施計画書等に従って実施・記録・報告されていることを監視・確認する業務
- モニタリング業務を担当するモニターを製薬会社等に派遣する特定派遣業務



事業内容 [2]

データマネジメント業務

臨床試験においてモニターにより収集されたデータを記録・管理（データベース化）し、そのデータを生物統計学的手法を用いて解析し、当該医薬品等の有効性・安全性等の試験成績を評価・検討する業務



ファーマコヴィジランス業務

製薬会社等より委託を受けて、臨床試験、製造販売後臨床試験、製造販売後調査、文献・学会調査等で発生した安全性情報の収集、評価分析、当局への報告書作成等を支援する業務



事業内容 [3]

その他業務

メディカルライティング業務

医薬品等の研究開発から承認までに必要な、当局への各種申請書類、各種報告書及び論文等の作成支援を行う業務

コンサルティング業務

医薬品開発戦略の立案、当局への相談、申請資料作成等に関して総合的なコンサルティングを行う業務

CSO業務

医療機関に対する医薬品・医療機器等の営業活動や、マーケティング業務等を受託し行う業務

市販後調査業務

当局から承認され発売された後に、臨床試験では分からなかった効果や安全性の確認を行う業務

会社の沿革

- 1982年 9月 医薬品開発に関する資料作成、医療図書の翻訳出版及び医療出版物の市場調査等を目的として、東京都千代田区神田小川町に株式会社メディサイエンスプランニング（資本金4,000千円）を設立
- 1994年 9月 当社を含む4社で日本CRO協会を設立
- 1995年 7月 本店を東京都中央区日本橋小伝馬町に移転
CRO事業（モニタリング業務）の本格的な開始に向け臨床開発部を設置
データマネジメント業務の本格的な開始に向け統計解析部を設置
- 2003年12月 福岡市博多区に福岡支店を開設
- 2004年 3月 本店を東京都中央区東日本橋（現 本店所在地）に移転
- 2005年 9月 大阪市中央区に大阪支店を開設
- 2005年11月 当社と同業の株式会社コモテック（本店 東京都中央区）と合併
同社との合併に伴い新たにファーマコヴィジランス業務を開始
- 2007年 2月 CSO業務を開始
- 2008年 3月 ファーマコヴィジランス業務の生産性向上、中国における事業の推進を目的として、北京事務所（中華人民共和国北京市朝陽区）を開設
- 2008年10月 大阪証券取引所ヘラクレス市場に上場
- 2009年 9月 株式会社シーポック（本店 東京都文京区）を子会社化